

議会

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	5 連帯感を高める協働のまち・雄武 協働によるまちづくりの推進	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
17010010	基本施策	22 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A 地域力の向上（活カ・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	1 計画行政の推進			
事業名	議会活性化事業			担当課	議会事務局
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①町議会定例会中継回数			数値目標	①4回/年

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
議会インターネット録画配信業務			議会インターネット録画配信業務委託料 792千円		議会インターネット録画配信業務委託料 792千円		議会インターネット録画配信業務委託料 792千円		議会インターネット録画配信業務委託料 792千円		議会インターネット録画配信業務委託料 792千円		
			年度別数値目標		①4回		①4回		①4回		①4回		①4回
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	3,960	1,578	792	1,578	792		792		792		792	
合計(千円)	3,960	1,578	792	1,578	792	0	792	0	792	0	792	0	
特定財源			評価・実績	実施内容									
				議会インターネット録画配信業務 議会タブレット利用促進 DTPシステムによる議会だより作成									
		評価結果		A - 継続 / 現状維持									

事業名	議会活性化事業	評価者 管理職 職氏名	議会事務局長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	議会事務局長	山崎 佳之

令和5年度実施
令和6年度評価

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	町民		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町議会定例会中継回数	
抱える課題やニーズ	町民参加の機会の拡充を図り、町民の意見が町政に反映できる仕組みづくり			指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか (意図)	町民とともに歩む議会、町民に開かれた議会の実現を目指す。		①	年間回数	目標年度 令和5年度 目標値 4回 実績値 4回 達成度 100.0%
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	議会及び議員の活動の充実と活性化を図ることにより、情報公開と町民参画を基本とした公正で民主的な町政の発展と町民の福祉の向上に寄与することを目的とする。			②	年間回数
内容 (どのような手段で何を行ったか)	インターネット録画配信業務	管内でインターネット録画配信業務を行っている業者と業務委託を契約し、議会定例会での一般質問のみであるがYouTubeを通じて議会中継 (録画) を配信することができた。			
	DTPシステム活用	年4回発行している議会だよりの紙面を充実して見やすくするためにシステムを活用し、議会だよりを発行することができた。			
	議会タブレット利用	議案等のペーパーレス化や各委員会活動における資料添付、議会活動のスケジュール管理をタブレットを活用して行うことができた。			

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民とともに歩む議会、町民に開かれた議会の実現を目指すために必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	議会の活性化につながる事業ができたことから、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	インターネット録画配信や議会だよりの発行は、町民へ議会の活動状況を周知する手段であることから、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	議会の活性化は町民全体に関わることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
インターネット録画配信などを通じて、町民に開かれた議会の実現に努めることができた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
町民とともに歩む議会、町民に開かれた議会の実現を目指すため、計画どおり事業を展開し、議会の活性化に努める必要がある。			

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○ 休止 ○ 廃止